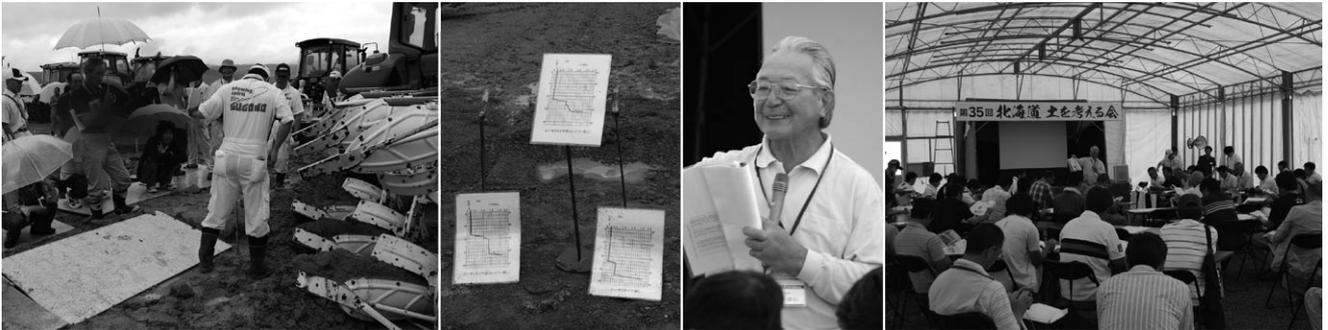


# 第35回北海道土を考える会 夏期研修会

▶7月5日、6日  
(北海道上富良野町)



「目で知る」「数字で知る」  
槌に接しているトラクタ  
の足回りについて考えて  
みよう!!

第32回北海道土を考える会が7月5、6日に行われた。直前までの晴天から雷雨に見舞われたが、スタッフを含めて100名余りが参加した。

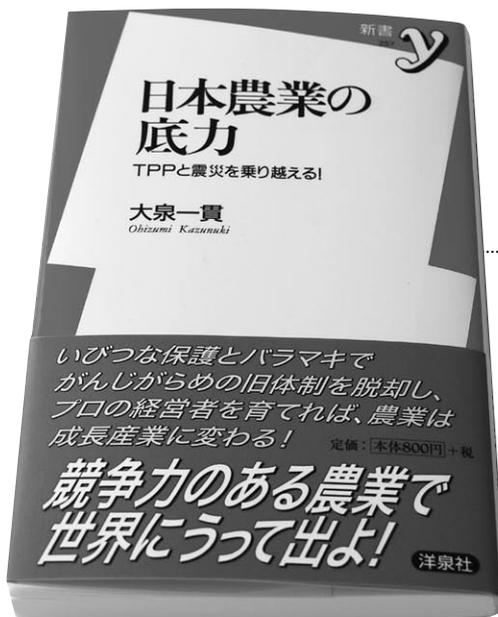
今年のテーマは、「目で知る」「数字で知る」土に接しているトラクタの足回りについて考えてみよう!!と題して、トラクタの踏圧や適正なウエイトバランスを実演検証によって理解しようという内容である。

ホワイト農場のテントの前に、大きな秤を設置し、ホイール、ハーフクローラ、フルクローラ、前後に作業機を装着した偏平タイヤのトラクタが順に乗り、それぞれの前輪、後輪にかかる重量を計測した。概ね、前輪に48%、後輪に52%という後輪荷重の傾向が見られた。一方、前後に作業機を装着した事例では、フロントを上げた状態で前輪荷重になるだけでなく、前後の作業機を下ろすと、前輪荷重、後輪荷重ともに軽くなるのが数値化された。つまり踏圧の軽減効果を観察できたのだ。

雨天の中、ホワイト農場では各種トラクタの踏圧が穴を掘って展示されていた。実証に引き続いて行なわれた興味のある機械について語るディスカッションでは、ユーザーと購入検討者が意見交換する様子も見られ、盛り上がりを見せた。

大泉一貫氏の新著

## 『日本農業の底力』 TPPと震災を乗り越える!



新書 y (洋泉社) 840円 (税込)

- 第1章 TPP狂想曲
- 第2章 震災からの復興と日本の農業
- 第3章 日本のあるべきTPP戦略
- 第4章 日本農業の底力
- 第5章 成長産業となるためのビジネスモデル
- 第6章 農業経営を現在の5～10倍へ増やせ
- 終章 責任ある国家へ

「国家統制的な農家保護をそのまま続けても農業の衰退に歯止めはかけられない!成長産業に向けて競争力強化にシフトするためには、農業のイノベーターや本当の意味での農業経営者を育て、彼らに思う存分、活躍してもらう場を用意することだ。TPPへの参加や震災からの復興を図るにしても、日本農業のもつ底力を十二分に発揮できるような環境整備が急務となっている。日本の美しい農村の復活とグローバル社会に出ている農業の確立は、両立するのだ」